

武力攻撃への備えと対策

— 国民保護への対応 —



一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

この刊行物は、**宝くじ**の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



武力攻撃への備えと対策

— 国民保護への対応 —

目次

テロや弾道ミサイルの脅威から
自身や家族、そして地域を守るには
～このパンフレットの特徴～ 3

1 国民保護とは? 4

- ① 国民保護の3つの柱
 - 迅速な避難
 - 被災住民の救援
 - 被害の最小化
- ② 想定されている「事態」とは?
 - 武力攻撃事態
 - 緊急対処事態(重大なテロ)

2 事前の備え 6

- ① 備蓄品を確保しましょう
- ② 指定避難施設を確認しましょう
 - 自宅や職場の近くの避難施設
 - 避難施設の一例
- ③ 国民保護の訓練とは?
 - 国民保護共同訓練
 - 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練

3 情報を入手する 10

- ① 防災行政無線(屋外スピーカー、戸別受信機など)
- ② 携帯電話・スマートフォン
- ③ テレビ・ラジオ

4 避難をする 12

- ① 弾道ミサイル落下時の避難行動
 - 屋外にいる場合
 - 屋内にいる場合
- ② 化学剤、生物剤、核物質が用いられた場合の避難行動
 - 屋外にいる場合
 - 屋内にいる場合
 - 屋外から屋内に戻ってきたら…

テロや弾道ミサイルの脅威から 自身や家族、そして地域を守るには

～このパンフレットの特徴～

- 近年、諸外国では武力衝突や市民を対象としたテロ事件が多発する傾向にあります。
- このパンフレットは、大規模テロや武力攻撃に備えるにはどうすればよいか、必要な知識、活動について紹介しています。主な内容は次の4つです。

- 1 国民保護とは?** (4～5ページ)
- 2 事前の備え** (6～9ページ)
- 3 情報を入手する** (10～11ページ)
- 4 避難をする** (12～15ページ)

- 地震や風水害など、自然災害への備えが転用できる場面もあります。効果的な対策にお役立てください。



1 国民保護とは？

1 国民保護の3つの柱

国民保護とは、武力攻撃や大規模テロがあったとき、国、自治体、関係機関などが協力して住民を守るための仕組みです。次の3つの柱で構成されています。

1 迅速な避難

市町村の職員、消防官、警察官等が誘導します。市民の皆さんは安全に避難することを心がけましょう。



2 被災住民の救援

都道府県が救援活動を実施します。市町村は都道府県を支援します。

3 被害の最小化

警察、消防、自衛隊等が対応します。

ダムや発電所などの施設の警備 	化学物質などによる汚染の拡大を防止 	警戒区域を設定 住民が危険な場所に入らないよう警戒区域を設定 	消防活動 消火や被災者の救助などの消防活動
---------------------------	------------------------------	--	-------------------------------------

2 想定されている「事態」とは？

国民保護では、武力攻撃と重大なテロについて、次のような事態を想定しています。

1 武力攻撃事態



2 緊急処理事態(重大なテロ)

原発等、危険性のある物質を有する施設等への攻撃 	多数の人が集まる施設や大量輸送機関等への攻撃
サリン等、多数の人を殺傷する物質等による攻撃 	航空機等、破壊の手段として交通機関を用いた攻撃

1 備蓄品を確保しましょう

自然災害への備えは、武力攻撃やテロなどが発生し、避難をするときにも役立ちます。日ごろから備えておきましょう。

標準的な対応用品

●非常持ち出し品

No.	項目
1	携帯用飲料水
2	食品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
3	貴重品(預金通帳、印鑑、現金など)
4	パスポートや運転免許証
5	緊急用品(常備薬、消毒薬、消毒ガーゼ、ばんそうこう、体温計、三角巾、包帯、はさみ、ピンセット、安全ピンなど)
6	ヘルメット、防災頭巾
7	軍手(厚手の手袋)
8	懐中電灯
9	衣類(セーター、ジャンパー等)
10	下着
11	毛布
12	携帯ラジオ、予備電池
13	マッチ、ろうそく(水でぬれないようにビニールでくるむ)
14	使い捨てカイロ
15	ウェットティッシュ
16	筆記用具
17	新聞紙や大きなごみ袋(防寒や防水に役立ちます)
18	ミルク、紙おむつ、ほ乳びん(小さな子供がいる場合)

●数日間を自足できるようにするための1人分の備蓄品(3日分がめやす)

No.	項目
1	飲料水 9リットル(3リットル×3日分)
2	ごはん(水を注ぐだけで食べられるアルファ化米) 4~5食分
3	ビスケット(1~2箱)
4	板チョコ(2~3枚)
5	缶詰(2~3缶)
6	下着(2~3箱)
7	衣類(スウェット上下、セーター、フリースなど)

(「標準的な対応用品」のリストは、内閣府「武力攻撃やテロから身を守るために」をもとに作成)



2 指定避難施設を確認しましょう

指定避難施設は、武力攻撃や重大なテロが発生したときの避難先となる施設で、救援活動が行われます。

1 自宅や職場の近くの避難施設

避難施設は全国に91,973か所あります(2018年4月1日現在)。ご自宅や職場の近くの避難施設をあらかじめ確認しておきましょう。

国民保護ポータルサイトで全国の避難施設の所在地を確認できます。

<http://www.kokuminhogo.go.jp/hinan/>



2 避難施設の一例

指定避難施設は、自然災害のときの避難所として指定されている学校、体育館等が中心となっています。このほか、飲食施設や温浴施設を備えている道の駅、ミサイル攻撃による爆風等からの被害を軽減できる地下施設などが指定されています。



学校(体育館)

各地域に所在し、住民に認知されている施設



道の駅

炊き出しや医療の提供等救援活動にふさわしい施設



地下広場・通路

ミサイル攻撃や空爆の際に有効な避難先



ドーム球場

多数の住民等を収容できる施設

国民保護の訓練とは？

1 国民保護共同訓練

国民保護共同訓練は、国と自治体が共同で行う訓練です。テロや弾道ミサイル攻撃に円滑に対応できるよう、2005年から図上訓練や実動訓練を実施しています。



緊急対応事態対策本部会議



危険性のある物質（サリンなど）の検知活動



被災者の除染



危険物対応訓練（爆発物処理）

出典：国民保護ポータルサイト

一部の自治体では、地域の自治会・町内会の協力を得て、国民保護共同訓練を実施しました。



避難誘導



避難者の受け入れ

出典：国民保護ポータルサイト

2 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練

あらかじめ参加者ごとの避難先は決めず、具体的な避難先はJアラートの放送を聞いた参加者がその場で判断する住民参加型の避難訓練が行われました。



煙等から倉庫へ避難する様子



倉庫に避難

出典：国民保護ポータルサイト



TOPIC 少しでも生存確率を高めるために

爆風や破片から身を守る

ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには、建物や地下への避難が有効です。近くに建物がない場合には、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ってください。



指定避難施設にこだわらない

緊急時は、指定避難施設かどうかにかかわらず、近くの建物（できれば頑丈な建物）の中、または地下施設に避難しましょう。

指定避難施設では、炊き出し等の救援活動が行われますが、緊急時は少しでも安全な場所へ避難することが大切です。



3 情報を入力する

武力攻撃やテロが発生したり、発生のおそれがある場合には、**Jアラート**により以下の方法で情報が提供されます。情報を確認して、落ち着いて行動してください。

1 防災行政無線（屋外スピーカー、戸別受信機など）

市町村は**防災行政無線**を使って、**屋外スピーカー**や**戸別受信機**などに特別なサイレン音を流して、みなさんに注意や避難を呼びかけます。特別なサイレン音は、内閣官房の国民保護ポータルサイトで聴くことができます。



屋外スピーカー



戸別受信機

2 携帯電話・スマートフォン

津波や火山情報などに関するエリアメール・緊急速報メールと同じ着信音で注意や避難を呼びかけます。**防災行政無線による特別なサイレン音ではありません。**

スマートフォンの機種によっては受信設定を個別に行う必要があります。

特別なサイレン音（国民保護に係る警報のサイレン音）を聴けるサイト

■ 内閣官房ポータルサイト <http://www.kokuminhogo.go.jp/>

エリアメール・緊急速報メールの着信音を聴けるサイト

- NTTドコモ エリアメールのページ
https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/disaster_evacuation/index.html
- au 緊急速報メールのページ
<https://www.au.com/mobile/anti-disaster/kinkyu-sokuho/saigai-hinan/>
- ソフトバンク 緊急速報メールのページ
https://www.softbank.jp/mobile/service/urgent_news/about/disaster_info/
- Yモバイル 緊急速報メールのページ
https://www.ymobile.jp/service/urgent_mail/disaster_info/

3 テレビ・ラジオ

テレビやラジオのニュースを確認してください。ケーブルテレビやコミュニティFMの中には**市町村**からの**Jアラート**情報を直接配信できるものもあります。



テレビ画面の例

TOPIC Jアラート（全国瞬時警報システム）について

弾道ミサイル情報、緊急地震速報、津波警報など、対応に時間的余裕のない事態に関する情報を国が住民へ瞬時に伝達するシステムです。市町村防災行政無線や、携帯電話等に配信される緊急速報メールで情報が伝達されます。



出典：総務省消防庁

Jアラートにより携帯電話に配信された実際の緊急速報メール

緊急速報
2017/09/15 07:00
「ミサイル発射、ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された可能性があります。建物の中、又は地下で避難してください。」
(緊迫音 発射音)
スライディング表示

発射情報

緊急速報
2017/09/15 07:07
「ミサイル発射、ミサイル発射。発射のミサイルは、北朝鮮地方から太平洋へ飛過した模様です。北朝鮮地方発射した場合には、決して避難せず、発射の音や音に反応しないでください。」
(緊迫音 発射音)
スライディング表示

経過情報

緊急速報
2017/09/15 07:07
「ミサイル発射、ミサイル発射。発射のミサイルは、北朝鮮地方から太平洋へ飛過した模様です。北朝鮮地方発射した場合には、決して避難せず、発射の音や音に反応しないでください。」
(緊迫音 発射音)
スライディング表示

活用事例：2017年9月15日弾道ミサイル発射事案

4 避難をする

1 弾道ミサイル落下時の避難行動

弾道ミサイルが着弾すると、爆風や建物の破片が遠くでも発生します。発射から着弾まで、きわめて短時間となる可能性があります。速やかに適切な避難行動を取る必要があります。



1 屋外にいる場合

近くの建物（できれば頑丈な建物）の中か、地下に避難してください。無ければ、物陰に身を隠したり、地面に伏せて頭を守ったりしましょう。

頑丈な建物や地下への避難



急いで近くの建物に避難。



窓から離れ、身を守る姿勢をとる。



急いで地下街へ避難。



かがめて隙間に身を隠す。

出典：国民保護ポータルサイト

近くに建物がない場合



農業用水やコンクリート製の橋の下などに身を隠したり、その場で伏せて、頭部を守る。



車を運転している際は、速やかに安全な場所に停車し、車から離れる。近くに建物がない場合は、その場で伏せて、頭部を守る。



出典：国民保護ポータルサイト

2 屋内にいる場合

窓から離れるか、窓のない部屋に移動して、机の下に身を隠したり、地面に伏せて身を守る姿勢を取ってください。



机の下に身を隠したり、窓のない箇下に出て身を守る姿勢をとる。

出典：国民保護ポータルサイト



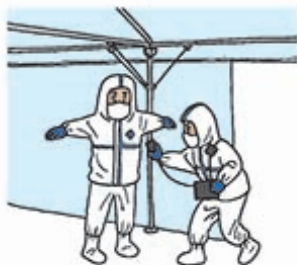
TOPIC 近くにミサイルが落下したら・・・

屋外にいる場合 口と鼻をハンカチでおおい、密封性の高い屋内または風上へ避難する。

屋内にいる場合 換気扇を止め、ドア・窓を閉め、室内を密閉にして、ドア・窓・壁から離れて身をかがめる。

2 化学剤、生物剤、核物質が用いられた場合の避難行動

化学剤、生物剤、核物質は人体の機能障害を発生させます。短時間で発症するものや、潜伏期間があるものもあります。テレビやラジオで情報を収集し、行政機関からの指示に従い、適切な行動を取りましょう。



1 屋外にいる場合

●化学剤・生物剤の場合

口と鼻をハンカチでおおいながら、その場から直ちに離れます。外気から密閉性の高い屋内の部屋または汚染・感染のおそれのない安全な地域に避難しましょう。



●核爆発の場合

遮蔽物の陰に身を隠したり、近隣の地下施設やコンクリートの建物の中へ避難します。閃光や火球は失明するおそれがあるので見ないでください。上着を頭から被り、口と鼻をハンカチでおおい、皮膚の露出を少なくします。爆発地点から離れる際、風下を避けて風向きと垂直方向に避難します。



2 屋内にいる場合

屋内では窓を開け、目張りして室内を密閉します。窓のない中央の部屋に移動します。化学剤は空気より重く下をはうように広がるので、2階建て以上の建物であれば、上の階へ避難します。



3 屋外から屋内に戻ってきたら…

汚染物を身体から取り除くため、
①衣類を脱いでビニール袋に密閉します。②頭からかぶる服は、化学剤が皮膚に触れないように、はさみで切り裂いてビニール袋に入れます。③その後、水と石けんで手、顔、体をよく洗います。

安全が確認できるまでは、汚染された疑いのある水や食物を摂取してはいけません。身近に汚染・感染した可能性のある人がいる際には、その人が触れた物に触れず、頻りに石けんで手を洗います。



TOPIC 地下鉄サリン事件 化学剤を用いたテロの例

1995年3月20日朝8時ごろ、オウム真理教により東京都内の日比谷線、丸ノ内線、千代田線の3路線で、車両内に液体入りの容器が置き去られました。複数の車両や駅構内で、猛毒のサリンが流出しました。乗客、駅職員等12人が死亡し、5,510人が負傷する事件となりました。



出典：東京消防庁

危機管理ハンドブック◎ 武力攻撃への備えと対策 —国民保護への対応—

監修 中野 森 明治大学名誉教授
編集発行 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目9番16号 日本消防会館4階
Tel: 03-3593-2823 Fax: 03-3593-2832
URL: <http://www.boukai.or.jp/>
印刷 株式会社アイネット
発行 2019年1月

宝くじは、 みなさまの豊かな暮らしに 役立っています。



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちで、みなさまの暮らしに役立っています。

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。



一般財団法人

日本宝くじ協会

<http://jla-takerakuji.or.jp/>